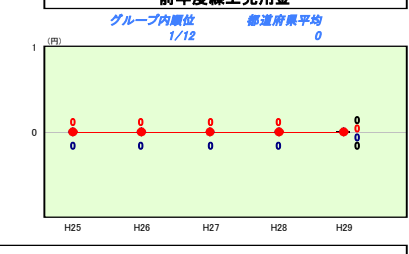
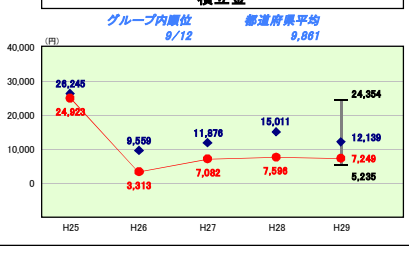
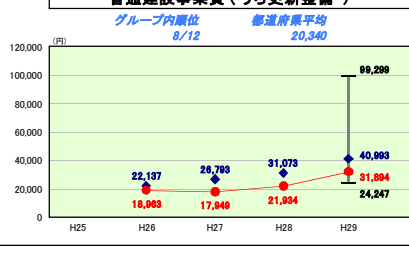
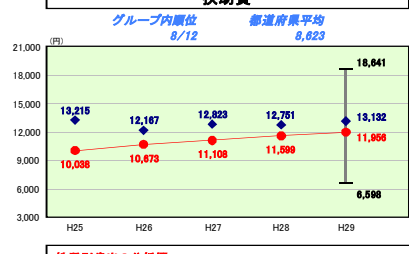
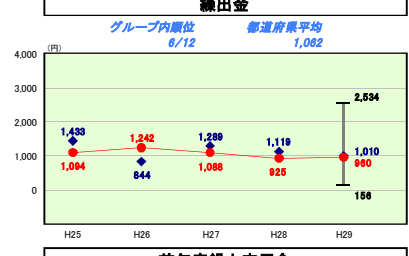
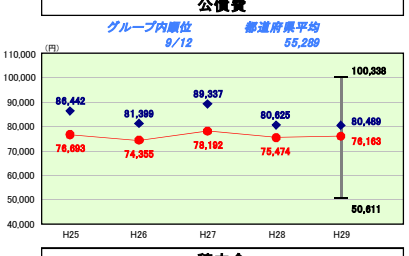
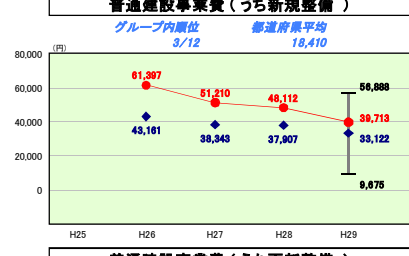
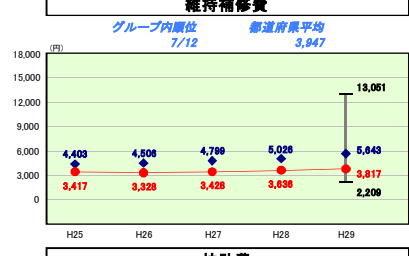
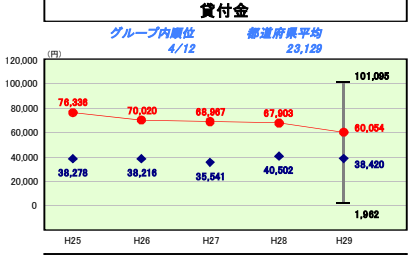
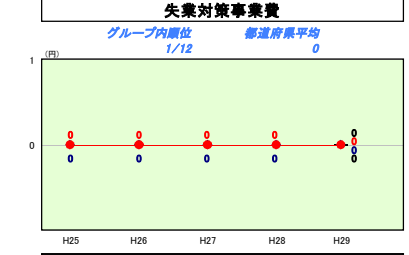
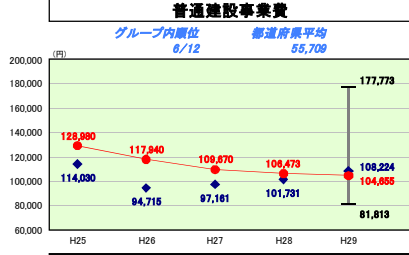
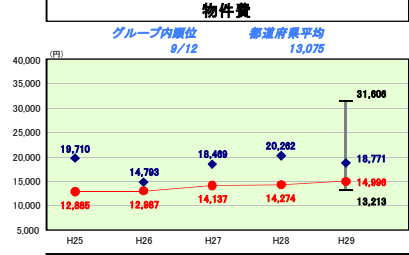
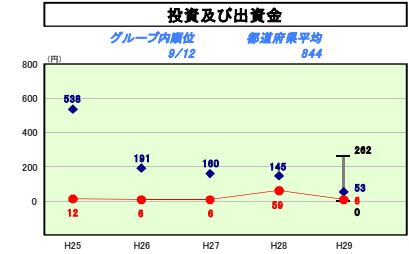
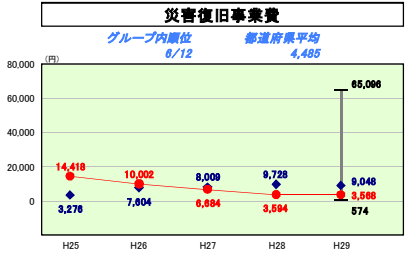
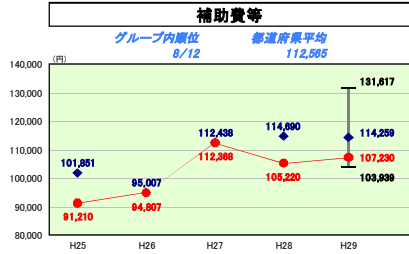
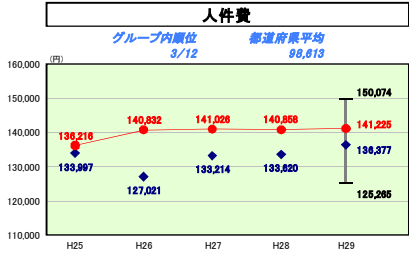


(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

人口	975,074 人 (H30.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	968,748 人 (H30.1.1現在)	通算実質赤字比率	- %
面積	4,724.64 km ²	実質公債負担比率	8.7 %
歳入総額	532,338,483 千円	将来負担比率	196.0 %
歳出総額	518,621,711 千円	グループ	H25 E H26 D H27 D
実質収支	5,879,728 千円	(年度毎)	H28 D H29 D
標準財政規模	295,831,391 千円		
地方債現在高	1,023,752,020 千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1,000以上、Bグループ 0.500以上1,000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

平成29年度の歳出決算総額は、住民一人当たり532千円となっており、前年度と比べ6千円の減少となっている。
 住民一人当たりの補助費等は、社会保障経費の増加等により2,010千円の増加となった。また、普通建設事業費については、京名和自動車道の整備や消防学校・新宮警察庁舎の建設が平成28年度で完了したこと等により、1,818千円の減少となった。
 今後、社会保障関係費や公債費の増加が見込まれる中、「和歌山県長期総合計画」に掲げる和歌山県がめざす将来像を実現していくため、平成29年3月に策定した「中期行財政経営プラン」に基づき、引き続き行財政改革に取り組んでいく。